

自然の家だより

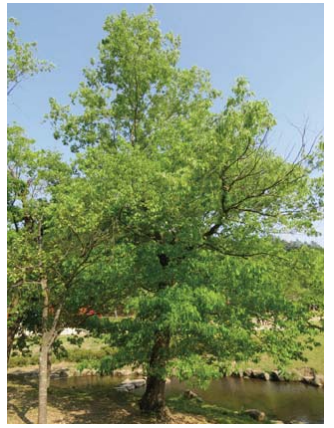
平成27年
5月15日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 Email: gishizen@he.mirai.ne.jp URL: http://www.mirai.ne.jp/gishizen/

大きなコナラの木の下で

芝生広場の脇に大きなコナラの木が一本（写真右）。散策の途中、その木陰で一服していると、偶然、枝先にオトシフミのゆりかごを見つけました（写真①）。「これを作ったオトシフミは、どこにいるかな？」と探し始めると、しばらくして、若葉の上にちょこんとのっかった一匹のかわいいらしいオトシフミを見つけました（写真②）。

アシナガオトシフミという名のオトシフミです。



オトシフミの仲間がどんなふうにも卵を産み付けるのか？どんなふうにもゆりかごを作るのか？ぜひ、調べてみてくださいね！
自然の家ホームページ「自然の家だより」214号でも紹介していますよ！

「他にはどんな虫がいるかな？」と興味がわいてきたので、木の幹や枝、葉をじっくり観察してみると、シャクトリムシ（シャクガの幼虫 写真③）やヨコヅナサシガメ（写真④）、ナラメリンゴタマバチの虫こぶ（写真⑤）などを見つけることができました。



「なぜ、このオトシフミはこの木の若葉を好むのか？」、「なぜ、このサシガメはゴツゴツしたこの木の幹にいるのか？」・・・、今回の観察は、木と虫の不思議な関係を考えるよい機会にもなりました。

みなさんも一本の木をじっくり観察してみませんか？

おもに昆虫が植物の根、茎、葉などに産卵、寄生することによってできるこぶ状にふくれたものを虫こぶ（虫えい）といいます。

名前からもわかるように、ナラメリンゴタマバチの虫こぶは、リンゴに似ています。